

(西暦) 2020 年 11 月 25 日

聖マリアンナ医科大学病院・横浜市西部病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	神奈川県における新生児死亡の実態調査：新生児死亡登録事業の普及
当院の研究責任者 (所属・職位)	聖マリアンナ医科大学病院 病院教授 北東功
他の研究機関および 各施設の研究責任者	北里大学病院 新生児集中治療学 教授 中西秀彦 神奈川県立こども医療センター 新生児科部長 豊島勝昭 横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センター 准教授 関和男 聖マリアンナ医科大学病院 病院教授 北東功 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 助教 廣瀬あかね 東海大学医学部付属病院 小児科教授 内山 温
本研究の概要・背景・ 目的	<p>これまで、神奈川県内で発生した新生児死亡数に関する報告は、自治体レベルで行われていますが、死亡原因を含む死亡に関連した正しい情報、予防可能な因子を把握することを目的とした全実態調査が行われていませんでした。新生児死亡の実態を調査しその状況を知ることは、新生児医療と新生児死亡率のさらなる改善につながるものと考えられ、新生児死亡登録事業を実施することには大きな意味があります。</p> <p>本研究の目的は、1) 神奈川県内の新生児死亡例において死亡診断書に加えて死亡に関連する詳細な情報を収集すること、2) 新生児死亡に関連する神奈川県の周産期医療体制の問題点を抽出すること、3) 多分野連携型前方視的な死因究明制度体制を構築し、神奈川県の公衆衛生および小児医療体制の向上することです。</p>
調査データ 該当期間	2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に、聖マリアンナ医科大学病院・横浜市西部病院 NICU に入院された生後 28 日未満の新生児
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの電子カルテに記載のある死亡症例の年度別発生数、地域別推

	移や、死亡原因の分類を行う。施設背景、母体背景、新生児背景を合わせて調査し、死亡との関連を調査します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	本研究は、多施設共同研究であり、基幹施設である北里大学病院へ試料・情報の提供を行います。各施設で集計されたデータは、各施設における個人情報管理者によって、匿名化・データロックを行い、北里大学病院研究責任者まで添付ファイルで送付します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
データの利用に同意 されない場合とその 申し出の期限	① この研究に関してデータの利用に同意されない場合には下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 ② お申し出は 2025 年 12 月 31 日までをお願いいたします。なお、同意されない場合でも診療上の不利益をこうむることはありません。 ③ ただし、研究の進捗状況により、試料・情報の利用に同意しない場合でも対応できない場合も生じます。(匿名化後、論文化後等)
お問い合わせ先	所属： 聖マリアンナ医科大学病院 担当者：鈴木真波 電話：044-977-8111 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 担当者：廣瀬あかね 電話：045-366-1111
備考	